

# 海洋資源探査を効率化するための3次元海洋観測システムの開発

－ 持続可能な水産業の実現を目指して －

## 【背景】

日本は世界第6位の排他的経済水域を持つ海洋国家であり、古くから水産業が盛んにおこなわれてきた。しかし近年では、水産業の衰退が危ぶまれている。日本の漁獲量は約40年前のピーク時の1/3程度の量にまで減少しており、漁業従事者も平成の期間で61%も減少した。また、現在漁業従事者の約4割が65歳以上、平均年齢は56.9歳と高齢化が進んでいる。このように、資源減少や担い手減少・高齢化が進行しており、水産業が産業として持続不可能になりつつある。

## 【目的】

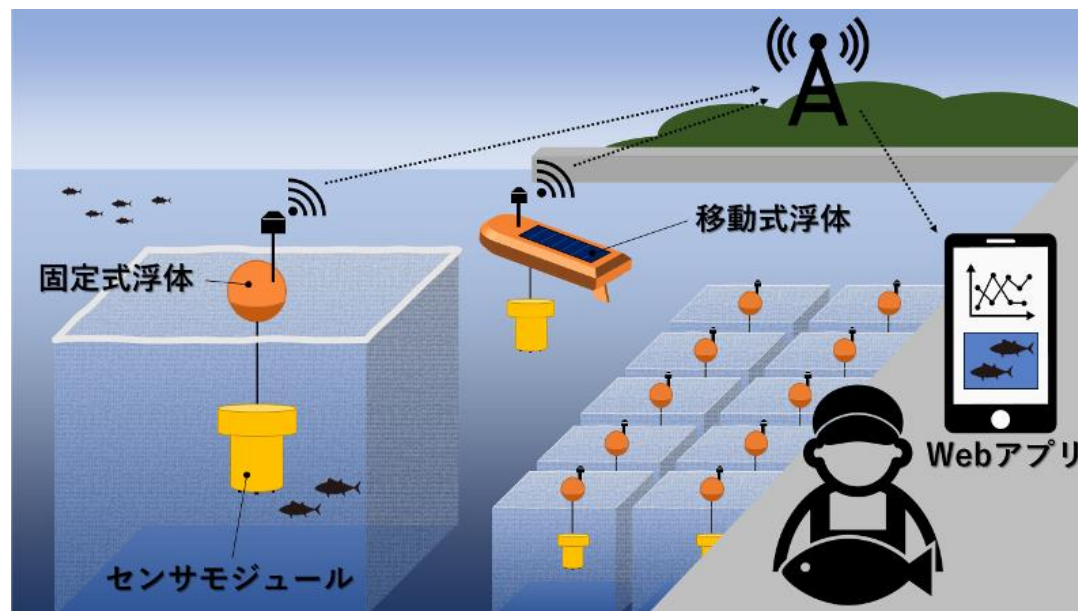
本プロジェクトで開発した海洋観測システムによって、漁業者の業務効率化を行い、持続的な水産業を実現するという目的達成を目指す。

## 【製品概要】

現地でデータ収集を行う固定型・移動型観測機器およびユーザーにデータを表示するWebアプリからなる。

## 【製品の特徴】

- ・ 小型
- ・ 安価
- ・ 使いやすい
- ・ インターネットに接続されている



システム全体図

## 【未踏アドバンスト期間中の成果】

- ・ 株式会社MizLinxを設立
- ・ 実証実験3か所（高知、宮城、長崎）
- ・ 顧客候補との議論開始

## 【今後の展望】

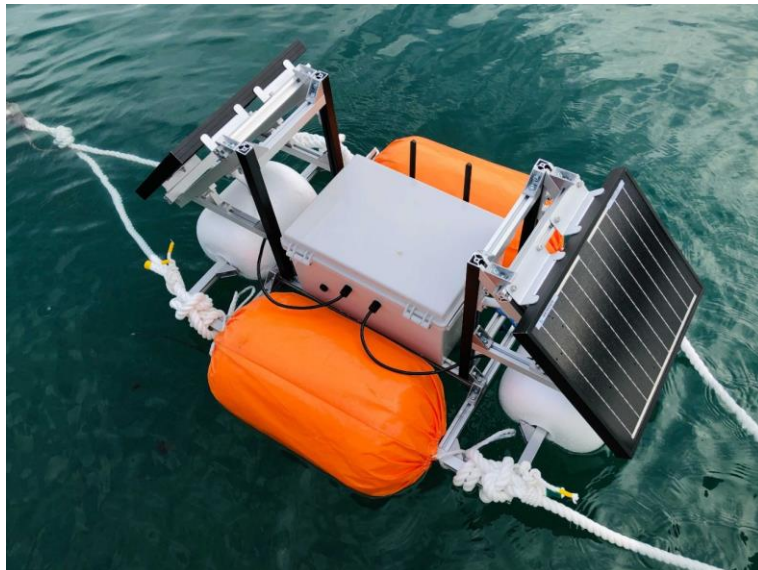
- ・ 製品化に向けたシステムのブラッシュアップ
- ・ 本システムで取得したデータの利活用方法の検討

## 【参考URL】

<https://mizlinx.com/>



長崎県の養殖業者の方々と野城



固定型観測機器



移動型観測機器